

緑内障と白内障が 「治る」時代に 向けて



座長

栗本 康夫 先生
(神戸市立神戸アイセンター病院)

学会テーマである「緑内障が治る時代に向けて」にかさね、「緑内障と白内障が「治る」時代に向けて」というタイトルでHOYA株式会社との共催セミナーを企画しました。緑内障眼における白内障手術への考え方をアップデートできる内容を意図し、3名の先生方に

ご講演を依頼しております。吉水先生には、閉塞隅角緑内障に対する白内障手術の望ましい適用について、ガイドラインも交えてお話しいたきます。内藤先生には、近年注目を集めるマイクロシャントのエビデンスのほか、自院における眼内レンズ選択について御講演いただきます。松下先生には、開放隅角緑内障眼における白内障手術のタイミングに関する考察と共に、近年積極的に取り組まれている患者視機能向上への考え方を紹介いただく予定です。いずれのご発表も緑内障と白内障が「治る」ことを目指した研究成果や自院での取り組みを基にされており、私たちが次の時代に進むうえで有用な情報になると考えています。多くの先生方のご来場をお待ちしております。

講演
1



緑内障治療における白内障手術の活かし方 **吉水 聡** 先生 (神戸市立神戸アイセンター病院)

講演
2



マイチョイス!プリザーブド&Impress **内藤 知子** 先生 (グレース眼科クリニック)

講演
3



より良く「治る」ための手術戦略 **松下 賢治** 先生 (大阪大学)